



第 5 号
2012年12月1日



手々しい北斎よりも、
軽妙洒脱な蕙斎の絵を
好んだようです。
これまでは北斎ばかりが
脚光を浴び、蕙斎

鋏形蕙斎の「江戸一目図屏風」

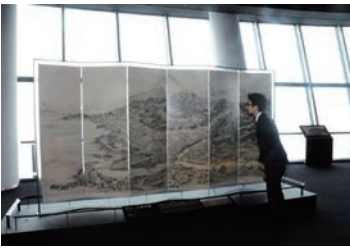
東京スカイツリー展望室に複製展示

小説『限取絵師』
(平茂寛著)表紙

鋏形蕙斎(くわがたけいさい)が描いた「江戸一目図屏風」の複製画が、東京スカイツリーの展望室に常設展示され話題となっています。「江戸一目図屏風」は、江戸の町を一望した鳥瞰図で、東京スカイツリーから見下ろした景観と、ほぼ一致しています。飛行機もヘリコプターもない時代に、なぜこのような絵が描けたのか謎で、話題を呼びました。蕙斎は、江戸時代に生きた津山松平藩のお抱え絵師でした。もとは町屋の浮世絵師でしたが、突如として武家に召し抱えられました。浮世絵師といえば、誰しも葛飾北斎を思い浮かべるでしょう。実は、北斎と蕙斎は、活躍時期が重なっています。今時の表現を借りれば、ライバルと言ってもよかったです。当時の江戸に「北斎嫌いの蕙斎好き」なる言葉があったぐらいで、江戸っ子は、原色で派



江戸一目図屏風



「写真上」こちらは本物。津山郷土博物館にあります
「写真下」こちらは本物の複製画(山陽新聞社提供)

言葉があつたぐらいで、江戸っ子は、原色で派
また、来年五月末日から、岡山県立美術館において「美作の美術展」が開催され、蕙斎の絵が、かなりの数展示されます。希有の機会だと思います。さらに、私事で恐縮ですが、本年三月に、蕙斎を主人公とした時代小説『限取絵師』を刊行し幸運にも朝日時代小説賞を受賞しました。来年は美作国建国千三百年に当たります。この機に、鋏形蕙斎を様々な角度から楽しんでいただけたら、と思います。(会員 作家平茂寛)

展 望

早いもので、本年もあと一月となりました。十月の全国大会奥州白河

歴 研

大会では、福島県知事(代理)と小生の二人が代表して来賓祝辞をさせていただきました。昨年の吉備の国岡山大会が与えたインパクトの強さを感じました。祝辞の中で、厚かましくも山田方谷のNHK大河ドラマ化の百万人署名運動をPRさせていただきました。山田方谷を重用した備中松山藩主板倉勝静(幕府最後の筆頭老中)は白河藩主の八男で、備中松山藩主の養子として岡山にいられた方です。岡山歴研としては署名運動の先頭に立つ意気込みです。継続活動としては、全国初の県下の歴史団体のデータベース作成です。企画委員会では来年度の活動計画を練っております。

今後とも皆様のご協力をよろしく願っています。
(会長 天野勝昭)

全国大会
奥州白河大会―岡山県から十二名参加―
戌辰の役
今なお白河に

十月十九日(二二日)、福島県白河市で第二八回歴史研究会全国大会が開催された。岡山県から十二名が参加。



▶新白河駅にて歓迎

一日目は式典、記念講演そしてパネ

ルディスカッション。式典では天野会長が来賓として挨拶した。パネ

ネルディスカッションでは幕末の戌辰戦争、白

河口の戦いで、敵味方の子孫、二本松藩丹羽家、棚倉藩阿部家、忍藩松平(奥平)家の当主三人が当時の白河口の戦いについて冷静に、和氣あいはいに話された。



▲地震で石垣が崩落した小峰城

二日目

は白河小峰城、白河関跡、棚倉城跡、八槻都々古別神社、白河ハリストス正教会、関川寺などへ。白河関は五世紀中頃の設

岡山は歴史の宝庫
歴史団体のデータベース化に協力を

「歴史の宝庫、岡山県にどんな歴史関係団体があるの?」と聞かれても「?」である。岡山歴研設立時、発起人の一人である柴田一先生から「会を設立するのなら、県内の歴史団体を調査してデータベースを作成したらどうか」との提案を戴いた。昨年三月の会報、創刊号で天野会長と柴田顧問両名のアピール文を掲載した。今年三月より調査を開始。現在約五十団体から回答がある。岡山の歴史を全国に発信する「データベース化調査」に多くの団体からの協力を得て、今年度末完成を目途に進める。各団体の状況が判り、情報交換、交流・講師派遣等が出来やすくなります。データベース作成は全国初の試みです。歴史関連団体の情報を事務局までお知らせください。

「山田方谷」をNHKの大河ドラマに
全国百万人の署名活動

今年度の活動テーマに掲げてきた「山田方谷」をNHKの大河ドラマにという運動が岡山県商工会議所連合会の岡崎彬代表等7人が代表に就任し、スタートしました。

百万人の署名を集めようということになり、その推進員の愛称が「方谷サポーター」にきました。天野会長はこの運動の実行委員会で「当会で1万人の署名を集めま

す。」と表明しました。活動の趣旨・用紙は別途配布します。岡山歴史研究会の一人一人が推進員になり、署名集めに取り組みたいと思います。会員一人当たり四十名を集めれば目標を達成できます。

山田方谷は岡山県の誇りです。この運動の主要な牽引団体として頑張っていきましょう。

三日目は県境を南下して下野国の那須町へ。陸奥国と下野国のかつての国境にある二カ所の明神の見学。白河口の戦いの舞台、稲荷山に登り、足下に血の流れた土地を見る。

官軍びいきの私は、白河市民が官軍の戦死者の霊をも慰め、祀ったお寺を見学してただただ敬服。墓碑には多くの官軍各藩の藩士の名前が刻まれる。反面、奥羽越列藩同盟軍は形勢不利の中での最後の戦い。あたかも先の大戦での軍人精神と同じものを感じた。

加上義博(会員)

「知行合一」

岡山藩郡代津田永忠顕彰会 会長 **小嶋光信**
(当会顧問)

岡山藩郡代津田永忠顕彰会は、津田永忠の偉業全般に亘る研究・顕彰を主目的とし、特に、池田綱政公の命で造園した岡山後楽園の研究・活性化、民間視点でのサポートをしています。

主な活動は、年1～2回の講演会や研修会等の開催と毎年秋の恒例行事となった「大名庭園サミット」への参加・協力です。

大名庭園サミットは、日本全国の名庭園の保存整備活動に取り組む市民団体で構成される「大名庭園民間交流協議会」の全国大会で、今年は第7回大会が広島で開かれます。サミットの大会事務局は、各地の加盟団体が持回りで務めています。

協議会設立のきっかけは、「岡山後楽園築庭300年祭」開催時に民間主体の交流会は少ないので、まず日本三名園の民間交流から始めようと盛り上がったことで、直ぐに金沢の兼六園へ打診して2006年10月に結成し、翌年には「大名庭園と能」をテーマとしたサミットを岡山で開催しました。金沢と岡山の2団体からスタートした小さな会も、その後、水戸・偕楽園、東京・小石川後楽園、高松・栗林公園、彦根・玄宮園、広島・縮景園、会津若松・御薬園…と次々仲間が増え、現在では8団体が加盟する大きな会となりました。

歴史を学ぶことで、古人の知恵や工夫を現代に活かし、後世へより良くバトンタッチできるよう、「知行合一=良いと思ったことは直ぐに行う」を実践していきたいと思ひます。



津田永忠備前焼坐像除幕式

美作の中世山城連絡協議会

会長 **後山 富士水** (当会顧問)

美作の中世山城連絡協議会は2005年(平成17年)10月に9つの中世山城保存会により結成され、現在14の保存会、会員数約160名で運営されています。

さかのぼれば、津山市指定史跡の中世山城、神楽尾城・荒神山城・医王山城の三城が集まり、お城自慢をしようというのが契機で、2002年3月「作州津山中世山城サミット」を開催しました。このサミットには、実に300人もの市民が結集し、講演会・シンポジウムは盛り上がりました。

さらに2004年、津山城築城400年記念事業に「美作の中世山城サミット」として企画し、登山会・講演会・パネルディスカッションを行いました。この山城の活動を続けてほしいとの要望から本協議会の結成に至りました。規約には毎年登山会・講演会の開催を盛り込み、さらに調査、保存活動の活性化を謳っています。

2007年には「まなびピアおかやま」協賛事業「山城登山会」「講演会」を岡山県北各地で開催、2010年には念願の国民文化祭で「山城の祭典」を催し、津山から全国に情報発信しました。地域に残る遺産を守り、後世に受け継いで行きたいと思ひます。

詳細はホームページで、中世山城で検索して下さい。

<http://www3.tvt.ne.jp/~nagataki/>



山城登山会

今後の予定

- ・ 12/6 (木)
顧問・運営委員会議
- ・ 1/12 (土)
操山探訪会(ウオーク)
- ・ 2/7 (木)
運営委員会議
- ・ 3/15 (金)
会報第6号発行

第4回 探訪会 10 / 13

秋晴れのもと、六十五名で山田方谷の足跡を探訪。まず、第一回「方谷まつり」の会場、大佐へ。市長、他大勢が参集。天野会長も激励の言葉を寄せた。終焉の地の方谷園、碑文の題字は勝海舟。大佐神社、方谷記念館を見学。昼食は地元の人のもてなし。

移って、方谷の遠祖が治めた佐井田城址へ。そして平安杉が聳える高岡神社には四歳時の書が奉納。次いで墓地の方谷園へ。木堂書の門柱、三島中洲の碑文。最後に高梁の城下へ。武家屋敷通りを見て歩く。長岡藩から来た河合継之助が宿泊した御茶屋は改築中だった。(十二月完成予定)

山田方谷の足跡を辿る



終焉の地 大佐方谷園で記念撮影



[写真上] 挨拶する天野会長
[写真左] 高梁市・八重籬神社

お知らせ

第5回探訪会 操山界限 をウオーク

日時：1月12日(土)9時半
集合：操山里山センター(沢田)
案内：上原・野崎両顧問
担当：山崎他
見所：岡山市街地に近く、ハイキング道も整備されて多くの市民に親しまれています。大小の古墳が約130基存在。寺院も多く歴史ウオークに最適です。

会報配布 地域担当委嘱制を発足

会員の地域懇親の機会を持つて戴くために、近隣の会員に当面会報(年三回)を配布して戴く地域担当者を募集しています。試しに今回から一部地域で実施を予定。ご理解とご協力をお願い致します。

編集後記

秋の探訪会には約七十名の参加者が有り盛況でした。方谷さんを学ぶ我々の取組がNHK大河ドラマ放映につながると、今年の我々の目標が成功したことになります。署名も頑張りましょう。

発行 岡山歴史研究会
代表 天野勝昭
編集長 山崎泰二
事務局 〒701-11332
岡山市北区平山844-86山本方
電話 086-287-6226

